

製品名: SRA マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80545**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|---|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | IHC,ELISA |
| 反応性 | 人間 |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | Mouse IgG1 |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---------------------------------------|
| 希釈倍率 | IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000 |
| 分子量 | / |

抗原情報

| | |
|--------------|----------------------------|
| 遺伝子名 | SRA |
| 別名 | SRAP; STRAA1 |
| 遺伝子 ID | 10011.0 |
| SwissProt ID | Q9HD15 |
| 免疫原 | 大腸菌で発現した SRA の精製された組み換え断片。 |

背景

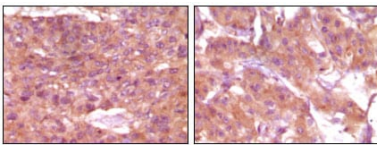
ステロイド受容体 RNA 活性化因子 1 (SRA) は、237 アミノ酸 (約 27kDa) からなるタンパク質で、機能性非コード RNA ファミリーに属し、その数は増加傾向にあります。SRA は、ステロイド受容体の活性を特異的に共活性化できる最初の機能性非コード RNA

として初めて記載されました。具体的には、SRA は、ステロイド受容体共活性化因子 1 と複合体を形成する RNA 転写産物として、また安定発現するタンパク質として存在します。SRA の発現は、多くのヒト乳がん、子宮がん、卵巣がんにおいて強く亢進しており、病態形成における潜在的な役割を示唆しています。SRA によるステロイド依存性転写の共活性化は増殖反応を伴いますが、過剰発現だけでは腫瘍形成を誘導するのに十分ではありません。

研究分野

アポトーシス

画像データ



パラフィン包埋ヒト皮膚癌（左）および乳癌（右）の免疫組織化学分析。DAB 染色による SRA マウス mAb を使用して細胞質および膜の局在を示しています。